

産業実務演習Ⅱ

科目ナンバリング MAN-202
選択必修 2単位

菊池 正

1. 授業の概要(ねらい)

社会に出てから必要なコミュニケーション、考察する力、プレゼンテーション(あるいはレポート作成)手法を演習を通じて学ぶ。授業では、新聞やウェブなどから話題となっているテーマなどを探す情報「収集力」、自分の考えを筋道立て、説得力を持って説明できる「分析力」を修養してもらいたい。最後に、学生諸君は情報「発信力」を身につける意味で、プレゼンテーションやレポート提出を通じて、学ぶことの楽しさ、情報の発信力と着信力の大切さ、論理的な議論の面白さを感じてもらいたい。

2. 授業の到達目標

読む力、書く力、聞く力、話す力を身につけ、自分の主張や意見をしっかりと表現できる力を身につける。

3. 成績評価の方法および基準

自分の言葉で考えをまとめ、ディスカッションそして分析できる力(あるいはレポート作成)を評価する。クラスへの積極的な参加(40%)、期末課題(レポートあるいは試験、発表:60%)等から総合的に評価する。好きなテーマを選び、自主的にレポートにまとめ提出することも歓迎する。詳細は、最初の授業で説明する。

4. 教科書・参考文献

教科書

テキスト・資料は配布する。新聞や雑誌メディア、書籍で紹介されている時事問題を扱う。詳細は第1回目の授業で述べる。エクセルの基本的な使い方も、ゆとりがあれば一緒に学びたい。

参考文献

経済財政白書 内閣府ホームページ <http://www5.cao.go.jp/keizai3/whitepaper.html#chiiki>

小島寛之、松原望 (2011)『戦略とゲームの理論』 東京図書

篠崎 信雄、竹内 秀一 (2009)『統計解析入門』 サイエンス社

外山滋比古 (2016)『思考の整理学』 ちくま文庫

日本経済新聞社編 (2017)『これからの日本の論点』 日本経済新聞出版社

アレックス・モザド(著)、ニコラス・L・ジョンソン(著)、藤原朝子(翻訳) (2018)プラットフォーム革命——経済を支配するビジネスモデルはどう機能し、どう作られるのか 英治出版

5. 準備学修の内容

日常から新聞や雑誌メディアに目を通し、関心がある政治・経済・文化記事を読み、世の中がどのように変化しているかを知り、将来どのような世の中になるか、洞察力をもって想像してほしい。

6. その他履修上の注意事項

自分の考えや意見だけでなく、学友の意見もしっかりと聞き、良いところは学び、クラスメートと切磋琢磨してくれることを期待する。一度も休まない意志を持つ学生の受講を期待する。

7. 授業内容

【第1回】 クラスでは講義形式で授業を行った後に、意見交換(ディスカッション)、Q&A。その他、必要な技術の習得のためのパソコン演習も適宜行いたい。クラスでは学生と対話形式で、ひとつずつ技術が向上するように授業を進めていきたいので、意見・コメントも歓迎する。

オリエンテーション

【第2回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第3回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第4回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第5回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第6回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第7回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第8回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第9回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第10回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第11回】 授業の前半は講義、後半は学生との意見交換(ディスカッション)を行いたい。

【第12回】 学生によるプレゼンテーション。もしくはレポート作成の指導(予定)

【第13回】 学生によるプレゼンテーション。もしくはレポート作成の指導(予定)

【第14回】 学生によるプレゼンテーション。もしくはレポート作成の指導(予定)

【第15回】 まとめ